

ニュース・お知らせは
 東海・北陸信越総局 ☎052(282)0476 F A X 052(264)0285
 北陸信越支局 ☎026(264)6073 F A X 026(264)6074
 または日本共産党各県委員会へ

2013
 9/3

給食たべられず倒れる子も

ランチ券やめ無償に



阿部教育長(右端)に要望する坂本代表(左端)ら11月30日、新潟市役所

新潟市の学校給食で民間委託がすすめられ、中学校のスクールランチ給食(ランチ券購入か弁当併用)を家庭の経済的事情で利用できない状況が起きていくことから、「よりよい学校給食を考える会」は8月30日、市の阿部愛子教育長に改善を要望しました。坂本典子代表(元新潟大学教授)らが参加しました。

考える会 新潟市教育長に改善要望

新潟市では、中学校のスクールランチ給食は58校、学校給食センター調理委託が10センターで行われていきます。事業仕分けにより来年度から、自校方式の上所小学校と女池小学校で民間委託のモデル実施が先駆けとして実施されようとしています。

要望では、▽学校給食は無償にする▽自校方式の調理を民間委託にしない▽スクールランチ給食の改善と利用の保障などを求めました。

坂本代表は「食は文化。民間の営利を目的にした調理ではいけない。学校給食のすべてが民間委託になることが危惧している。子どもたちにおい漂うおいしい給食を食べさせ、心身の発達と日本の食文化を子どもを通して家庭にも反映できるものにしてほしい」と強調しました。

他の参加者からも「生活保護世帯の生徒が、家の米びつにコメもなく、ランチ券も買えず、給食を食べられない状況を見た。先生が修学旅行の積立金の一部をあてたらと助言したら、生徒は旅行に行けなくなるからと断った」「朝食も食べず、ランチ給食もなかった生徒が体育の時間中に倒れた。こうした世帯の子どもは決して親を悪く言わない。食のつらい体験はおとなになっても心に残る。人権保障でぜひ実態を調べ、改善してほしい」と訴えました。

阿部教育長は「給食を食べられない問題は、先生が実態をつかんだらすぐ上げてもらう態勢をとりたい。福祉部局とも連携して支援の仕方を考えたい」「安心して楽しい給食ができることが一番。意見を聞きながら後退しないよう頑張ってください」と答えました。

要望には、日本共産党の小山哲夫、明戸和枝、風間ルミ子、飯塚孝子、野本孝子の5市議が同席しました。